

服のチカラ

世界を良い方向に変えていく



02 HEATTECHが生まれる場所
ユニクロの商品をつくる工程・環境、つくる人

MADE FOR ALL



品質を左右する縫製の工程。
袖、裾、ボタン付け、糸始末など、縫製だけでもいくつもの工程に分かれている。

ユニクロ商品をつくる工程・環境、つくる人

HEATTECH が 生まれる場所



世界を良い方向に変えていく

服のチカラ O2

ユニクロの年間生産枚数は、約5億着。

今号は、その約8割を生産する中国工場について、ユニクロの商品をつくる工程・環境、つくる人を紹介します。

「服」を通じて、お客様も、工場の従業員も、ユニクロ自身も、今より少し、良い方向に向かうことができる。それこそ「本当に良い服」がもつ、「服のチカラ」だと考えています。

contents

- 04 ユニクロの商品ができるまで
- 06 ユニクロの商品をつくる人
- 08 今どきの中国事情
- 10 中国社会の「働く」ということ
- 12 工場における労働環境モニタリングの流れ
- 14 国・文化・立場を超えて
- 15 ユニクロが今、できていること、いないこと

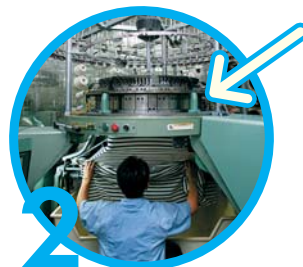
ユニクロの 商品ができるまで

お客様に安心して着ていただける、安全な商品をお届けするため、素材の選定から販売にいたるまで、厳しい検査を繰り返し行っています。



1 素材の選定・染色

すべての素材で、第三者機関による「サンプル検査」を実施。安全性を確認。



2 編み立て

織り工程は機械化されているが、風合いや質感は職人の目で管理。



6 仕上げ

アイロン前後に、複数回、全量検査。アイロン仕上げはもちろん、梱包も人の手で1点1点丁寧に。



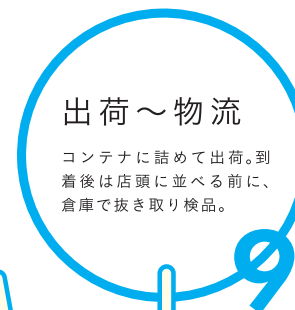
8 第三者機関による 抜き取り・監査

全体の2.5%にあたる商品を抜きとり、委託された第三者機関のスタッフがチェック。



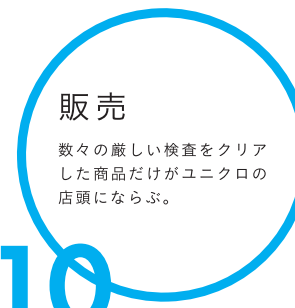
7 出荷前検品

小さな金属片にも反応する精密な検針機で全量検品。金属反応が出た商品は鍵付きの箱の中に入れ、他商品との混在を防止。



9 出荷～物流

コンテナに詰めて出荷。到着後は店頭で並べる前に、倉庫で抜き取り検品。



10 販売

数々の厳しい検査をクリアした商品だけがユニクロの店頭にならぶ。



3 生地

染色前後や裁断前に、すべての生地において、傷や汚れ、染めムラがないか、1つ1つ厳重にチェック。



裁断

布が引きつったりしないよう、注意しながら裁断。機械でまとめて裁断する際は、従業員の安全確保のため金属製の手袋を着用。



4

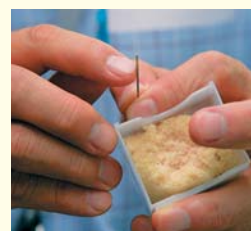


5 縫製

品質を左右する縫製。その速さ・正確さは職人技。工場内で縫い針の数は決まっており、折れた場合は破片も集めて復元。一部も欠けていないことを確認する。



染色の匠
商品サンプルの色味を確認する匠。染めや風合いなどをチェック。匠の適切な判断は、長年の経験と勘による。



匠のアイディアで、オリジナルの加工を施した針。万が一、針が混入した場合も、この工場のものか区別が可能に。



縫製の匠

匠が現場を直接見てまわり、問題があれば原因を見定め、その場で指導・改善。

ユニクロでは、品質と安全性を確保するため、日本の繊維業界で長い経験をもつ技術者を、「匠」として各工場に派遣。素材選定から仕上がりまで全プロセスにおいて確認・指導を行い、商品の安全性と品質確保の「磐」の役割を果たしています。

column

生産現場で直接指導にあたる繊維産業のエキスパート「匠」とは？

LUNCH TIME

お昼ごはん

工場の昼休みは交代制で、12時～13時30分の間に1時間半とります。交代制とはいえ、数百人が一斉に食堂に集まるので、調理場はフル回転。熱気と活気に溢れています。ボリューム満点のお昼ご飯は、一食あたり約2.5～3.5元(約35～50円)。超人的な集中力で仕事に取り組む工員も、食堂では賑やか！



BREAK TIME

休憩時間

従業員のために、インターネットも使えるパソコンルームやジム、図書館、卓球台、ビリヤードなどの施設を用意している工場もあります。約2元(約30円)程度の入場料を支払うと、1日使えるシステムもあるようです。



ユニクロの 商品をつくる人

ユニクロの商品を、実際につくっているのは、どんな暮らしをしているのか。広東省・東莞市にある某工場で働く人の生活や素顔を紹介します。



DORMITORY

寮での暮らし

広州など比較的都市部にある工場の場合、約8割が地方出身者。家族と離れて寮で暮らしており、実家に帰るのは旧正月(2月)の時だけ、という人がほとんどです。寮の一部屋の広さは平均25平方メートルで、そこに6人分のベッドが並びます。6人が気持ち良く暮らすためには整理整頓が不可欠。小物が多い水回りも、散らかさないよう収納を工夫し、清潔に保たれています。



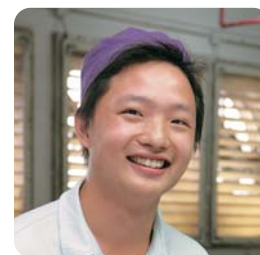
唐兵さん (26歳)
Bing Tong

前の職場に比べて、福利厚生面と給与面が良いです。現在、故郷の彼女と遠距離恋愛中で、電話で連絡を取り合っています。



王香麗さん (20歳)
Hong Lai Wong

洋服が好きで、休みの日には、寮で同じ部屋の友人と一緒に買い物をしたり、食事をしに出掛けることもあります。



范体爽さん (21歳)
Tie Song Fan

仕事が終わった後や休みは、寮に併設されたパソコンルームでインターネットをしたり、図書館にある雑誌や本を読んで過ごすことが多いです。



王麗さん (26歳)
Li Wang

16歳で入社して以来もう10年働いています。寮に住んでいて、子どもは実家の両親に預けているので、毎週電話は欠かせません。

こんなに違う？ ここは同じ？

今どきの中国事情

隣国だけれど、意外と知らない中国のこと。中国のリアルな暮らし、トピックスを紹介します。

※数字は北京、上海など都市部の平均を表しています

Q1 | カ月のお給料は？

約 **27,600** YEN

※数字は都市部で働く人の平均です。
2006年、中国全国总工会が「今後3～5年間で最低賃金を平均賃金の40～60%に引き上げる」という目標を発表。以来、各地で最低賃金の引き上げが進んでおり、上海市14%UP、広東市10%UPなど、賃金の上昇率が二桁に達する地域もある。(a)



贅沢品の販売量

世界 1位

世界的な景気の落ち込みを受け、日本ではブランド品をはじめ贅沢品市場の縮小が進むなか、中国の販売量は伸び続けている。2009年度の贅沢品販売量は約4500億円、世界第1位に。今や中国人の「ブランド好き」は、日本人以上かも。(b)

data	
国名	：中華人民共和国
面積	：約960万平方km (日本の約25倍)
人口	：約13億人
首都	：北京
(2009年1月現在)	

Q2 ブランド品は好き？



Q3 洋服に1か月どれくらいお金をかける？

1,292 YEN

上海、北京など、大都市で流行しているファッションは、東京とそれほど変わらない。最近では、テレビやインターネット等のメディアを通じて、海外ファッション情報が地方にも広がり、地方都市にもブランド品や高級下着の専門店が進出しつつある。(a)

北京市の車の増加台数／一日

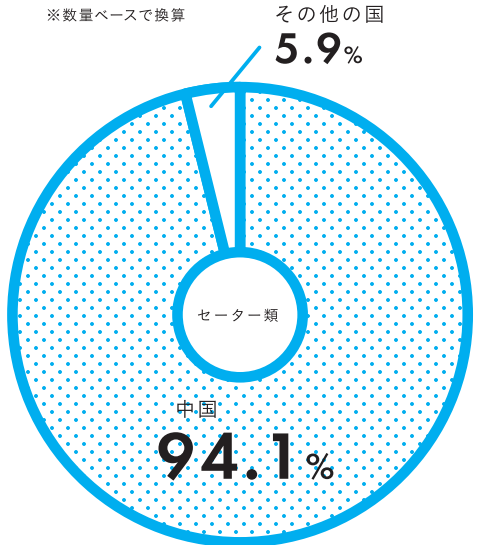
約 **1,700** 台

北京市の渋滞が日々悪化する一方、市民の自動車保有台数は、急激に増加。史上最多を更新し続けている。今やマイカーの購入は珍しいことではなく、現在は2台目購入ブームだとか。(b)

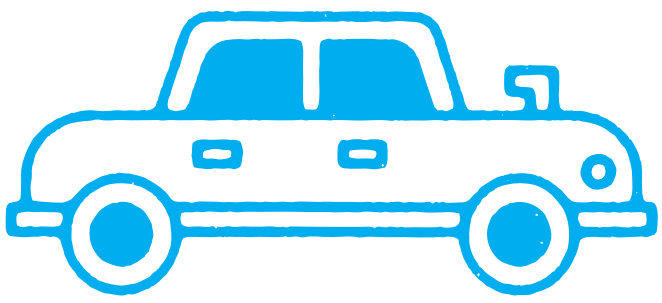
Q5

中国輸入衣料品の割合は？

中国は世界最大の輸出国で、日本市場における中国製品の割合も大きい。特に衣料品は、総輸入量の約9割が中国製品という場合も。(c)



Q4 自転車→My Car 中国の「自動車ブーム」？



Q6 「一人っ子政策」は今…

条件付きで第二子も可

中国の「一人っ子政策」は有名だが、上海では条件付きで第二子を認めている。というのも、上海では高齢化が進み2050年には労働力不足が予想されているからだという。(b)

Q7 博士号取得者数は？

のべ **50,000** 人超

中国で博士号を持つ人は、2007年にのべ5万人を突破。アメリカを抜き、中国が世界最多の博士号授与国になった。優秀な学者の育成を目的とする博士号教育が、より良い仕事を手に入れる、就職のための教育、となくなってしまっている現状も。(b)

中国豆知識

雑誌は書店では買えない

上海でファッション誌を買おうと思っても、書店では売っていない。雑誌類のほとんどは、路上にあるキオスクのような売店やコンビニで販売している。

「食」文化に変化

伝統的に「食」を大切にする中国だが、大都市の独身者を中心に、自炊をしない人が増えている。廉価なレストランやファーストフードでの外食、あるいは惣菜を買って帰り、それで食事を済ませる人も多いという。



WORK IN CHINA

中国社会の「働く」ということ

田中信彦
経済ジャーナリスト

早稲田大学政治経済学部卒業。同大学在学中より、日中学院で中国語を学び卒業後、毎日新聞社に記者として入社。退社後、中国語の通訳・翻訳者などを経て、88年からフリーで執筆活動に入る。現在、日本と上海の両方に活動拠点を持っている。

もしれない。しかし、それを「かわいいそうだな」「助けてあげるべきだ」と考えるのはやめるべきだ。私たちの祖父母や両親の時代、日本社会の所得は圧倒的に低かったが、自分たちを「かわいいそう」だなどと思っただけで済んだ。いろいろ苦労はあったが、大多数の人はそれなりに楽しく日々の暮らしを送っていたのである。

中国の人たちは少しでも早く豊かになるために必死で働いている。かつての日本人と同じように。その人たちに對して、フェアな態度で、要求すべきものは厳しく要求し、技術でも知識でも報酬でも、提供すべきものは提供す。中国の人々はそうした当たり前の扱いを求めているし、それに応えて共に成長していくことが先進国の企業の責任ある態度だと私は思う。

中 国経済は過去30年、平均で年率10%近い速度で成長してきた。年10%の成長とは7年間で約2倍になることを意味する。このスピードに個人も食らいついていかなければならない。なんとかチャンスをつかんで、もつと豊かになりたい。立ち止まることは後退を意味する。

中国社会には、公務員や一部の国有企業を除いて、日本の大企業のような終身雇用の習慣はない。老後を支える年金制度も、失業保険も、農村の医療保険も、制度は未整備で頼りにならない。自分の実力を高め続けなければ、いつ仕事を失うかわからない。その代わり、力を付ければ新たなチャンスはいくらでもある。自分の運命を決めるのは自分の実力であって、会社が面倒を見てくれるわけではない。

そういう公共的なセーフティネットの薄い社会で、人々は自分や家族を守り、より豊かな暮らしを手に入れるために一生懸命働いている。自分の手で稼ぐ。自分で自分の力を伸ばす。そこにあるのは徹底した自己責任の論理だ。だから中国の人々が企業に求めるのは「自分を守ってくれること」ではなく、「成長の場を与えてくれること」である。

数字的に見れば、中国で働く人々の賃金水準は先進国の10分の1、あるいはそれ以下



工場における 労働環境 モニタリング の流れ

労働環境を適正に保つため、ユニクロは、外部監査会社による生産工場モニタリング（監査）を実施。工場内はもちろん、生活環境もチェックする様子をレポートします。

10:00 ▼ 倉庫



監査員「ちょっとダンボールを積み上げ過ぎでは？」。

現場チームは倉庫へ。材料や商品の管理状況はもちろん、ダンボールが倒れる危険性がないかなど、工員の安全性が保たれているかも重要なポイント。

9:00 ▼ オープニングミーティング



監査会社から監査員2名が工場に到着。工場長や人事担当者等と1日の流れやコードオブコンダクトの内容*、チェックポイントについて確認。

9:30 ▼ 調査スタート



監査員は、書類チェックと工場の現場チェックの二つのチームに分かれ、調査開始。

10:30 ▼ 工場内部



ラインの間を縫うように歩きながら、不明点は工場担当者に随時質問。記録用にカメラで撮影も行う。

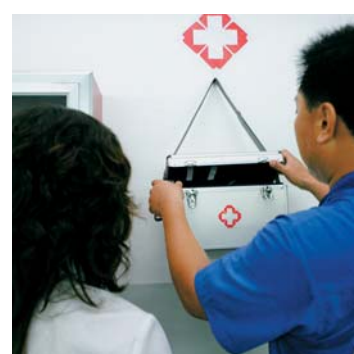
11:00 ▼ 工員へのヒアリング



監査員「食事や休憩時間はとれていますか？」
工員「はい。毎日、お昼休みを楽しみにしています」

労働環境上の問題が隠れていないか、工員にも個室でヒアリング。プライバシー保護のためヒアリング内容は厳重に保管する。また、工員が緊張しないよう、職場近くで世間話も絡めながらすることもある。

11:30 ▼ 工員の非常時の安全確保



工場「救急箱は、複数の箇所に設置。消火器も定期的に点検しています」

救急箱や消火器が、必要な時にすぐ使える場所に設置されているかなど、非常時の安全対策を確認。

12:00 ▼ 食堂



お昼休みの食堂へ。調理場の衛生管理、食材の保管状況などをチェック。

14:00 ▼ 寮



監査員「消火器はすぐに使えるよう、扉に鍵をかけないのが正解です」

工場内だけでなく、寮の環境が安全かつ衛生的に保たれているかも大切なポイント。

10:00～16:00 ▼ 書類チェック



現場チームが工場内を細かくチェックしている間、書類チームは、人事・給与等の書類を確認。最後に現場チームと合流し、ヒアリング内容などの整合性がとれているかも検証。

16:30 ▼ クロージングミーティング



監査員が、チェックした項目・内容を工場側に伝え、モニタリング終了。評価結果は後日ユニクロから連絡。

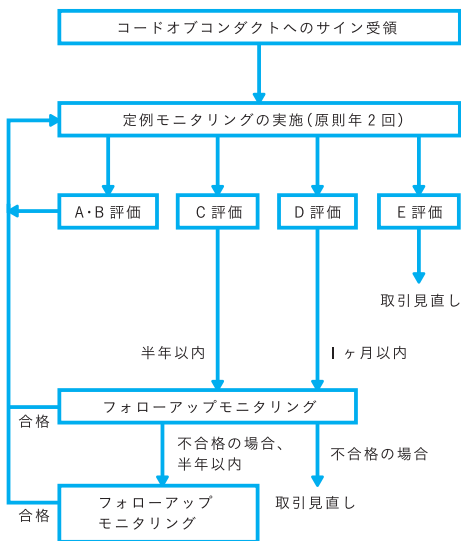
*コードオブコンダクト=行動規範。ユニクロでは、児童労働の禁止や残業時間の制限などについて定めた「生産パートナー向けのコードオブコンダクト」を制定。お取引先の縫製工場と誓約書を交わしている。

ユニクロが今、 できていないこと

ユニクロは「生産パートナー向けのコードオブコンダクト(行動規範、CoC)」に基づき、主要な縫製工場の労働環境をモニタリングしています。モニタリングの結果は、当社基準(A〜E)により評価されます。児童労働などの、特に深刻かつ悪質なケースが発覚した場合は、E評価として、即座に取引を見直しすることがあります。また、C評価・D評価となった工場に対しては、指導を行うとともに、改善を確認するためのフォローアップモニタリングを実施し、改善がみられない場合は取引を見直すなど、厳正な姿勢で臨んでいます。この取引組みは2004年にスタートしましたが、5年目を迎えた2009年、評価基準をこれまでよりもいっそう厳格なものに変更しました。例えば、これまで児童労働・強制労働を最も重視し、直ちに取引見直しまたはD評価という最も低い評価としていました。今回の改訂で、児童労働・強制労働に限らず、直ちに取引を見直すE評価を新たに新設し、取引見直しの対象範囲を拡大しました。また、「工場従業員の人權・安全及び周辺環境に与える影

響が極めて大きい」と判断される全ての場合をD評価としています。基準の変更にあたっては、工場の経営者や担当者などを対象にした説明会を数回実施し、周知徹底を図っています。児童労働や強制労働は論外としても、過剰な残業時間や連続勤務といった問題が発生する背景には、発注者であるユニクロ側にも相応の原因がある場合もあります。何らかの事情で発注時期が遅れる、急な計画変更でそのシワ寄せが生産現場に及ぶといったケースが考えられます。そうした事例は私たちが自らをチェックすることによってなくしていくことはなりません。工場の労働環境の問題は社会の構造と密接に結びついています。単に問題を発見してペナルティを与えるだけでは解決できません。工場側もメリットを感じて、自主的に取引組んでいただけるよう対話を続けること、また結果として社会環境を変え、社会に貢献する取引組みにまで広げていきたい。そうできない問題は最終的な解決にはつながりません。私たちがそう考えています。

モニタリングの仕組み



2009年度に検出されたD評価の具体的な事例	
強制労働	15〜20人従業員がいるラインに対し1枚しかトイレに行くための許可証が与えられておらず、自由にトイレに行くことを制限されているとみなされるケース。
長時間労働	サンプルした従業員のうち最長連続勤務が37日間にも及んだ人がいた。
従業員の安全	寮の建物の3階に2つある非常口のうち、1つが施錠されており、従業員の安全が確保できていない。
④ すべての事象に対して対象のお取引工場に改善計画の提出を求め、フォローアップモニタリングで改善を確認しています。	

工場

東莞晶苑毛織製衣有限公司
総経理 陳翠鴻さん



CSRはコストでなく投資である

CSRに対する私たちの考え方はユニクロと異なる点はありません。グループのトップがポリシーとしてその重要性を強調し、リーダーシップを取って推進しているところもユニクロと同じです。時に課題が発生することはありますが、ユニクロの生産チームと一緒に、両者にとってメリットがあり、対応可能な生産計画へと再調整して進めています。CSRは、事業コストというよりは、長期的視野に立った社会と人への投資だと考えています。それは、お客様とともに生き、ともに成長しようとしている私たちのコーポレートビジョンにもつながりますし、ユニクロと一緒に仕事をすることを通じて得た、考え方、経験であると思います。

工場

TJQA 青島麗発針織有限公司
董事総経理 大林浩さん



CSRの取り組みが工場の競争力を高める

私たちは、ユニクロと一緒にCSRの取り組みを積極的に進めることで、工場の競争力を一層高めていきたいと考えています。これまで、職場環境の整備、賃金や労働時間の問題など、できることから一歩ずつ取り組んできましたが、その結果、従業員の定着率が高まり、工場のステイタスも向上したことを実感しています。工場がある山東省青島市周辺は、地元出身者の従業員が多く、彼らが当社で技術を習得し、長く働いてくれることは、地域社会にとっても良いことですし、結果的に熟練者が増えれば、工場の競争力も高まっていくと思います。CSRの取り組みにより、こうした好循環につなげていきたいと考えています。

PARTNERSHIP

国・文化・立場を超えて

生産現場のお取引工場、生産量や納期を管理する生産事務所、そしてCSR部が連携し、「取引」ではなく、ともに考え成長する「取り組み」を行っています。

CSR担当

(株)ファーストリテイリング
CSR部 部長 新田幸弘さん



一歩ずつ取り組みれば必ず解決の道はある

私たちのチームは定期的にパートナー工場に対して改善指導を行っています。経営者の皆さんにとっては確かに大変で、手間がかかる面もあると思いますが、モニタリングの目的は問題を指摘したり、責めたりすることではありません。より良い工場になる方法を一緒に考えることです。すぐには解決できないことでも、一歩ずつ時間をかけて取り組みれば必ず道はある。実際、ユニクロが発注している工場は品質もCSRの管理もしっかりしているからという理由で、世界のトップブランドから新たな発注を得た工場もあります。パートナーのレベルが上がることは本当にうれしいことです。力を合わせてさらに成長していきたいと思っています。

現地事務所

ユニクロ上海事務所 所長
島田朋雄さん



自立した行動がCSRのカギ

CSRで最も大切なことは、それがパートナー工場の自立した取り組みであるかという点です。ユニクロは大きな取引先だからとか、監査があるから最低限クリアするとかではなく、CSRに取り組みすることで工場のレベルが上がり、よい製品ができるのだという点がかギです。確かにCSRの取り組みには一定のコストがかかります。しかしそこに果敢に挑戦し、管理のレベルが高くなった企業は、結果的に大きく成長しています。目の前の課題から逃げていたら成長はありません。ユニクロと一緒に正面からCSRに取り組み、自立して行動する経営者が増えてきたことは、とても心強く思っています。

